

平成 23 年 12 月 27 日  
 (財) 日本住宅・木材技術センター

「住宅・木材振興表彰」の受賞者の決定について

当財団では、国土交通省及び林野庁のご後援並びに住宅・木材団体のご協賛を得て、「住宅・木材振興表彰」を実施することといたしました。

今般、都道府県等地方公共団体及び住宅・木材関係団体等からご推薦いただいた表彰候補者について、当センターに設置する審査委員会によりご審査いただいた結果、下記のとおり林野庁長官賞、国土交通省住宅局長賞及び当センター理事長賞を決定いたしましたのでお知らせいたします。

なお、表彰式は平成 24 年 2 月 23 日 (木) 13:30 より、新木場ホール (東京都江東区新木場 1-18-6) で行いますので、ご参加下さいますようご案内申し上げます。

担当：総務情報部 亀下、森本  
 TEL 03-5653-7663

記

「住宅・木材振興表彰」受賞団体一覧

○ 林野庁長官賞

(受付順)

受賞団体名	受賞内容
株式会社 オロチ (鳥取県)	国産間伐材のスギ・ヒノキを材料とし、製材品としては加工しにくい小径木や曲がり材も無駄なく利用できる「国産材LVL」を製造販売することで地域資源の有効活用を実現しており、その製造技術及び製品販売実績が高く評価された。
大東建託株式会社 (東京都)	独自の集成材(国産材ラミナ)フレームに耐力パネルをはめ込む構造耐力壁を採用した新工法を導入するとともに、スギを活用した2×4工法のスタッド材を開発し一部地域で使用を開始するなど地域材の利用を積極的に推進している実績と将来の可能性が高く評価された。
新潟合板振興株式会社 (新潟県)	新潟県産の越後スギを活用した住宅用及び型枠用合板の開発、製造に積極的に取り組んでおり、平成16年の中部地震、平成19年の中部地震そして今度の東日本大震災において資材が不足する中で仮設住宅用等の復旧・復興資材の供給に貢献した実績が高く評価された。

○ 国土交通省住宅局長賞

(受付順)

受賞団体名	受賞内容
住田住宅産業株式会社 (岩手県)	東日本大震災での被災地の仮設住宅建設において、いち早く地域材を活用した木造仮設住宅の建設に着手し、被災者の用に供するとともに、建設作業に当たる職人を被災地から雇用するなど被災地の救援、復興に貢献した実績が高く評価された。
社団法人 福島県建築大工業協会 (福島県)	県内大工・工務店における県産材利用の取組みや各地域の気候風土に育まれた伝統的な住宅建築工法をわかりやすくPRする活動を続けており、今般の東日本大震災においては協会会員が連携して木造応急仮設住宅の建設に取り組み、県内で約300戸建設した実績が高く評価された。
株式会社サカモト (鳥取県)	地域産の智頭杉の一層の活用を図るため、人工乾燥による安定した品質の構造材や床材、難燃処理を行った壁材などを生産するとともに、異業種と連携しながら木製ブラインド、和紙を併用した家具類の開発やモデル住宅によるスギ材の良さを活かした住空間のPR等の多様な取組みが高く評価された。

○ (財)日本住宅・木材技術センター理事長賞

(受付順)

受賞団体名	受賞内容
兼松日産農林株式会社 (東京都)	地域材の利用拡大の一環として開発されたスギ材を主体とする国産材を使用した地盤改良基礎杭について、その常水面以浅での耐久性能や地盤補強効果等が高く評価され、今後、液状化抑止工法として、実験データに基づく設計法の確立に期待が寄せられた。
池見林産工業株式会社 (大分県)	外材が主体の木質内装材において、国産針葉樹を原料に高品質な無垢内装材等の製品を開発し、特に、独自開発の埋木補修技術により原木の多くを占める節有り材を有効活用し、平成23年度には13千m <sup>3</sup> の生産量が見込まれるなど地域材の利用拡大への取組みが高く評価された。
組手什おかげまわし東海 (愛知県)	間伐材や製材端材から棚等の多様な製品が製作できる部材の開発・販売に取り組み、その生産を各地に技術移転することにより地域材の利用拡大を図っており、地域おこしの観点からも高く評価された。さらに材料の調達のため、2m前後の丸太を集める「木の駅」の設置や地域通貨制度等の取組みが評価された。
日本木槽木管株式会社 新城工場 (愛知県)	樹脂やステンレス製の受水槽が大半を占める中で、スギの芯材等を使用した木製水槽の製作・販売に取り組み、地域材の利用拡大と木材の良さの普及・啓発、さらには木製構造物として地域の美しい街並みの形成に貢献していることが高く評価された。